

第53回内部地区文化祭 中止決定のご連絡



向秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は、内部地区社会福祉協議会活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、10月31日(日)に開催を予定しております第53回内部地区文化祭に付きまして中止を決定しましたことをご連絡申し上げます。
昨年につき中止決定となりましたこと非常に残念に思います。

新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、今年度当初に計画した事業案件はこれまで内部川清掃をはじめと多くが中止に追い込まれてきました。ついには四日市市内においても8月初旬から感染者数が過去最多となり、8月20日から9月12日まで2回目となる「まん延防止等重点措置」が四日市市に適用される事態になりました。行政からは移動の制限や行動の変容が求められ、今後の趨勢は予断を許さない状況です。

こうした中、地区最大の行事である文化祭については実行委員会において開催可能な方法を検討してまいりましたが、総合的に判断して中止の決定に至りました。誠に残念ではありますが、地域住民の安全を第一に考えたいと思います。これまで準備いただいた実行委員の皆様のご協力に感謝致します。

期後半の諸事業につきましては今後ワクチン接種が進みコロナ禍の終息が見通せる段階になれば、関連団体や専門部の皆さんの協力を得て進めてまいりたいと考えています。

皆様のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

内部地区社会福祉協議会会長 山中 博昭

◆問い合わせ先：内部地区団体事務局 Tel 347-1224

裏面もご覧ください 

3/28 あすなろう鉄道 内部駅前広場オープニングセレモニー開催

関係4団体が主催する「四日市あすなろう鉄道内部駅前整備の完成を祝うオープニングセレモニー」が開催されました。セレモニーには森市長、国会、県会、市議員の方々を始め地元市民の総勢約150名が参加しました。駐輪場が拡張され、駅前には送迎用のロータリーが整備されるなど利便性が大きく改善されました。



4/26 「采女城主後藤家の興亡」冊子発行

采女城跡保存会ではこのほど采女城の城主と伝えられている後藤家の由来とその事績に関する文献調査をまとめた冊子を発行しました。采女城は後藤氏が鎌倉時代中期に三重郡采女郷の地頭として采女の地に城を築いて治めたことに始まり、以後室町・戦国の世を8代続きましたが信長の天下統一の中で城は廃されたと伝えられています。



6/14 はげまし隊が内部小学校の池浚い

内部小学校の旧正門脇のそばにある池を内部っ子ばげまし隊が47年ぶりに泥浚いしました。ザリガニやドジョウほか淡水小魚が生息し、休憩時間に子供たちでにぎわっているこの池は昭和49年(1974)の創立100周年記念として作られたものです。1時間半かけて堆積した落ち葉や泥を掬い取ってきれいになりました。



はげまし隊は内部っ子の健やかな成長を支援するため、遊具の塗装や植え込みの剪定など保育園や学校の施設補修・環境整備、さらに幼稚園、保育園の野菜づくりなど保育活動の支援を行っています。

6/25 内部駅構内に竜舌蘭(リュウゼツラン)が開花

内部駅構内の四日市方(洗車台付近)に、「50年に一度咲く」と言われている竜舌蘭が開花しております。竜舌蘭は生涯1回だけしか咲かないらしく、「50年ぶり」ではなく植えてから50年経過して「やっと咲く」とのこと。構内に入っての見学はできませんが、花壇の整備をしていただいている内部地区の皆さんへのお礼の気持ちで情報提供がありました。



県道8号バイパス工事

7/5 花ノ木橋から県道三畑四日市道路への接続前工事

令和2年度から進められていた花ノ木橋のP2橋脚は完成し、左岸側A1橋台も姿を現しました。また、花ノ木橋から県道三畑四日市線に接続するための本線の嵩上げ工事も始まりしました。工事期間中は傍に設けられたう回路を通ることになります。



7/23 内部地区指定「希少野生植物」保護地の手入れ

昨年8月、国土交通省「内部川河道掘削工事」の際に移植をした希少野生植物「クサソテツ」および「コウヤワラビ」(しだ植物)保護地の手入れを行いました。内部地区社会福祉協議会の呼びかけで、梅雨明け直後の7月23日(木)に有志7名が草薙・草抜きを行いました。移植から1年が経過し、約300株が「大きく元気に育っている」ことを確認し、地域の「思いやりの心」が伝わったことに安心をしました。

